

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2020.02.No270

2月号

目次

防災セミナー：胆振東部地震のその後1年を経過して……………	1
東西アスファルト報告……………	2
まちづくり委員会報告……………	4
BIM推進特別委員会報告……………	5
青年・女性の窓……………	6
〔青年委員会〕	
Coffee Break……………	7
information……………	8

URL <http://www.h-ab.com/>

東西アスファルト事業協同組合助成事業：防災セミナー

胆振東部地震のその後1年を経過して

被災地応急支援委員会 西田 康 人 (札幌支部)



この度、東西アスファルト事業協同組合の助成金を活用させて頂き、令和元年12月7日にかでの2・7で女性委員会と共催でセミナーを開催し、29名の参加がありました。

講師に自衛隊上富良野駐屯地 荻田隆一氏、北海道建築指導課中田浩司氏、札幌市消防局小川忠司氏を招きまして、胆振東部地震を中心とした防災のお話を頂き、最後に意見交換会を実施しました。

行ったお話に続き、応急危険度判定活動をした被災建築物を実際の写真を見ながら解説して頂きました。

この度の判定活動は、道庁本庁舎から日帰り圏内に被災地があり、冬では無かった事、給油できるガソリンスタンドがあった事が幸いし、現地での判定活動を行うことが出来たとの事です。冬になりますと積雪で判定に大事な基礎部分を見る事が出来ないため、今後の課題であるとお話しされていました。



自衛隊上富良野駐屯地 荻田隆一氏

自衛隊荻田氏からは、胆振東部地震・東日本大震災などの災害支援の給水、給食支援、入浴支援、電力供給、好評を得ている音楽隊の演奏会など実際の支援をエピソードとして交えながらお話頂き、途中、自衛隊紹介のビデオを視聴させて頂きました。

お話の最後には、過去の災害からの教訓で、北海道は災害が起きない地域という考えは排除する事と、事前の自分自身の備えの必要性、そして、緊急時の為に、家族、近所の方などと日頃から連携をしっかりとしていく事の重要性を話されていました。



札幌市消防局 小川忠司氏

消防局小川氏からは前半、ドーコン新札幌ビル火災の件で防火シャッターのお話を中心に火災後の現場写真を使い説明して頂きました。

中盤、事前の蓄えの重要性、イラストにて家具転倒防止金物を多数ご紹介へと続いていきます。

そして後半では、避難所などで排水管破損などによる、トイレのオーバーフロー発生が懸念されるので、事前に災害時トイレ使用ルールを決めておく事が重要であると話されていたのが印象に残りました。



北海道建築指導課 中田浩司氏

応急危険度判定担当の北海道中田氏からは、胆振東部地震発生直後に現地の自治体と連携し活動を



意見交換会の様子

最後の意見交換会では、自衛隊の災害派遣までの流れ、応急危険度判定の民間への要請の流れ、判定の赤紙は何時はがして良いのか、被災地にて女性は活躍出来ているか、などの質問に答えて頂きました。

東西アスファルト事業協同組合から 令和元年度も助成金(150万円)を受領

東西アスファルト事業協同組合では、平成26年から事業エリアごとの広告宣伝事業活動を展開し、そのエリアの風土や地区性を踏まえた、地区の主体性をもった活動を推進されています。初年度の平成26年度は「さっぽろ雪まつり」等の道内のイベント関連に企業協賛として活動されていますが、一方で専門業者団体として目指すべき姿と立ち位置、北海道への地域貢献という部分での活動も検討されていた中、函館支部青年委員会主催「木で遊ぼう！マイはし作り体験」のイベントを耳にされ、このイベントに企業協賛並びにご参加されました。

その中で、はし作りを通じて地域の方々と触れ合い、子ども達にモノづくりの楽しさを伝えている建築士の姿が大変印象的とのことで、団体として目指している地域貢献、また地域貢献以外の面でも、建築士会活動への協賛・支援することにより、本会の発展、ひいては建築業界への貢献に繋がるものと考えられ、平成27年度以降、毎年本会事業に助成金を拠出いただき、令和元年度も150万円を拠出いただけるとのご提案のもと、令和元年6月18日(火)に正副会長、専務・常務理事及び各実行委員長による会議を開催し、6つの実行委員会より助成対象となる事業が提案され、7事業を実施することになりました。

□助成対象事業は、下記の7事業です。

委員会名	実施事業名	助成金額
情報委員会	「北海道建築士」の発行 ～カラー印刷化	307,000円
まちづくり委員会	景観まちづくり塾	260,000円
青年委員会	「マイはし作り体験」in AP収穫祭 (函館支部：青年道南ブロック協議会)	90,000円
	建築のお仕事体験イベント in 雄武 (紋別支部：青年道東ブロック協議会)	110,000円
女性委員会	建築士による家庭科等住教育出張講座	260,000円
被災地応急支援委員会	胆振東部地震その後：セミナー (シンポジウム) 防災研修	261,000円
会員増強特別委員会	新規建築士セミナー・免許証明書授与式	212,000円

東西アスファルト事業協同組合助成事業の概要

情報委員会

- ・「北海道建築士」の発行 全面カラー印刷化
北海道建築士会の動き、各事業等最新の情報を提供

- ・「全国大会特別号」12月号の増ページ
9月に開催された全国大会の報告ページを14ページに増やし拡充



まちづくり委員会

一般市民に景観まちづくりや魅力的な景観資源を守り育てていくことに興味をもっていただくきっかけとなることを目的とするとともに、これからの景観まちづくりのリーダーとなる人材（建築士）への景観教育を目的とし開催。北海道から景観整備機構の指定を受けている北海道建築士会として、この事業を通して行政との連携を深める。

（P 4 の報告ページもご覧ください）

- ・景観まちづくり塾 ～景観バスツアー in 夕張～
「産業の歴史とコンパクトなまちづくり」 38名参加



被災地応急支援委員会

- ・防災セミナー「胆振東部地震のその後」開催
震災による被災建築物や災害について考える。
（P 1 の特集(報告ページ)もご覧ください）
- ・減災・防災マニュアルの増刷
昨年作成したマニュアルを使用し小学校等で講演会を開催するため増刷

会員増強特別委員会

- ・新規建築士セミナーと免許証明書授与式
二級：1月25日実施 一級：2月15日実施予定
北海道建築士会の会員増強を目的に、一級及び二級・木造建築士の新規合格者を対象に、新建築士セミナー及び免許証明書の授与式を開催

青年委員会

未来を担う子ども達にモノづくりの楽しさ、建築士の魅力を伝えるため各地でイベントを開催

- ・「マイはし作り体験」in AP収穫祭（函館市）



- ・建築のお仕事体験イベント in 雄武（雄武町）

50名参加



女性委員会

道内高等学校家庭科授業等での住居分野の講座を開催し、自身の住環境や住まいへの関心を高めるオリジナル教材を用いた実習を開催

- ・建築士による家庭科等住教育出張講座（3校開催）
北海道ニセコ高等学校 32名参加 講師 5名
北海道訓子府高等学校 26名参加 講師 5名
北海道羅臼高等学校 32名参加 講師 5名



景観まちづくり塾 ～産業の歴史と景観まちづくり～

まちづくり委員会 松本 純 (札幌支部)



景観まちづくり塾～景観バスツアー in夕張～「産業の歴史とコンパクトなまちづくり」を、10月19日、東西アスファルト事業協同組合様に協賛をいただき、開催致しました。

景観まちづくり塾とは、一般市民に景観まちづくりや魅力的な景観資源を守り育てていく事に興味を持っていただくきっかけになることを目的とする事と共に、これからの景観まちづくりのリーダーとなる人材(建築士)への景観教育も目的とする。また、この事業を通して行政との連携も深めていきたい。とのコンセプトにより行っている事業で、今回で4回目の開催です。当日は生憎の雨模様でしたが、建築士会会員が20名、一般の方が9名にまちづくり委員を含めて38名でのバスツアーがスタートしました。最初の見学は「南幌町みどり野きた住まいるヴィレッジ」です。道が主導して6組の建築家×地域工務店がコラボレーションで作った、地域に根ざした豊かな暮らし、まちづくりを提案する新しいタイプの住宅展示場です。道中バスの中でガイダンスを受けます。当委員会の清水副委員長が当初の企画から携わっており、しゃべりたいことは沢山あったと思いますが、ここは北方建築総合研究所の松村副所長、南幌町の岩本様にお役を譲り、概要の説明を受けました。全6棟の内、既に4棟の販売が済んでおり見学できるのは2棟とのことです。6棟の住宅は市松状にずらして配置され、空間的な余裕や視点のずれが生じ、集まりつつもプライバシーも確保されるといった配置上の配慮がされているとのことです。見学は2班に分かれて、それぞれの設計を担当した建築家に直接説明を受けます。南幌まちなかの家は山本亜耕氏、時と共に育つコートハウスは久保田知明氏より、設計の想い、意図、工夫のお話を伺いつつ建物や図面を見せていただきました。



みどり野きた住まいるヴィレッジ

夕張市清水沢地区公民館へ到着後、夕張の名物メロンの漬物が入ったお弁当をいただきました。メロンの漬物はキュウリに似た食感でした。

昼食後はガイダンス「夕張市のコンパクトなまちづくり」を北方建築総合研究所の松村副所長と夕張市職員の方より受け、石炭産業の減少により市街地構造や人口減少の推移が進んだ流れ、そんな中でも住民の危機意識に対して、市職員が熱意をもって対

話を行い住環境の整備を行ってきたこと、特にノイズマイノリティ(声高な少数派)を恐れない合意形成の方法は大変興味深いものでした。

ガイダンス後は、「景観ウォッチング 清水沢まちあるき」を行う予定でしたが、雨の為バス車内からゆっくりまちを眺めつつ、「旧北炭清水沢火力発電所」に向かいました。ここは、(一社)清水沢プロジェクトが、アートの力で炭鉱の記憶を掘り起こすことを目的として見学の運営を行なっています。見学では、清水沢プロジェクト代表理事佐藤氏より、所有者の東亜建材工業様にも想いが伝わり発電所の解体が中断されたことなど、施設の歴史や公開見学に至った経緯などを伺いました。



旧北炭清水沢火力発電所

最後は石炭で積み上げられた「清水沢ズリ山」に登り、かつて炭鉱産業で栄えた清水沢のまちにそれぞれ想いを馳せながら、景色を眺めました。

今回の景観まちづくり塾において、まちづくりには産業が大きく関わること、行政と住民のしっかりした対話と協力が必要なことを改めて認識しました。参加者からは今後も継続して欲しいとの要望が多く、この事業を通して景観まちづくりに寄与していきたいと、感じました。



参加者によるスケッチ

本当にCADからBIMに代わるの？

BIM推進特別委員会 牛田 健一（札幌支部）



下の写真は、平成3年秋に北海道建築士会が行った講習会のテキストです。2頁には「CADって何？・・・」のタイトルが付けられています。



「パソコンCADをいかに使うか」テキスト（平成3年）

これは、建築でCADが使われ始めた時期に、現会長の高野青年委員長を中心として6名からなる「CADワーキンググループ」を作り作成したテキストです。

30年前に手書きからCADに代わった時と同じように、今はCADからBIMへと移行していく時期になっているのかもしれませんが。

私も含めた経験の長い技術者は、今更別の事を勉強する気には成らないし、本当にCADからBIMに代わるの？と重い腰を上げようとしませんが、時代の要求であり、建物の将来的なメンテナンスを考えると必要な情報が網羅されており、建築技術者不足を補い勤務の時間短縮を進めるためには必要なシステムがBIMには含まれていると思います。（現状ではCADより多く時間がかかり手間が増えている状況が多く見られますが）

北海道建築士会では、BIM推進特別委員会を設け、企画・設計（意匠・構造・設備）・積算・施工・維持管理・行政に携わる会員を中心としてBIMの研究を進め、相互に啓発しあいながら研鑽を積み、個人の資質を高めることを目的としています。

研究内容

- ・ BIMを用いての企画及びその在り方について
- ・ BIMを用いることによる設計作業とその在り方について
- ・ BIMを用いた積算作業とその在り方について
- ・ BIMを用いた施工計画とその在り方について
- ・ BIMによって得られる情報をもとにした建物の維持管理について
- ・ 上記相互の関連についての研究

参加資格

- ・ 建築士会正会員・準会員・賛助会員
- ・ 行政に所属する者
- ・ 建物の維持管理を業務とする者
- ・ その他、委員会が認める者

9・10・11月に行った委員会と1・2月の委員会は、委員会メンバーと行政から参加頂いているオブザーバーを中心として、BIMの現状についての勉強と委員会の進め方について意見交換を行ってきましたが、3月からの委員会は「勉強会」へと形を変え、BIMに興味を持つ多くの会員様にも参加頂ける形とし、多くの事例を見て頂きます。

3月以降の「勉強会」開催

場所 かでの2・7（中央区北2西7）

7階750会議室

時間 18：30～20：00となります。

参加 無料

3月17日 「BIMを使った設計の流れ」

～ ARCHICAD 23～

講師 伊藤組土建(株) 西岡 誠 様

協力 グラフィソフトジャパン株式会社

4月21日 「小規模事務所こそBIMの活用を」

～ VectorWorks2019～

講師 サムコンセプトデザイン 泉 俊哉 様

協力 エーアンドエー株式会社

5月19日 「2DCADからBIMへの乗り換え」

～ ARCHICAD 23～

講師 有限会社アトリエアルス 猪原 暁 様

協力 グラフィソフトジャパン株式会社

6月16日 「当事務所にとってのBIM」

～ GLOOBE ～

講師 畝啓建築事務所株式会社 畝 啓 様

協力 福井コンピュータアーキテクト株式会社

7月21日 「タイトル未定」

講師 未定

9月15日 「タイトル未定」

講師 未定

10月20日 「タイトル未定」

講師 未定

11月17日 「タイトル未定」

講師 未定

勉強会へ参加希望の会員・会員が所属する企業の皆様は、当日直接会場へお越しください、お待ちしております。

青年委員会

青年委員会活動について

道央ブロック（委員）

瀬尾 正宣（後志支部）

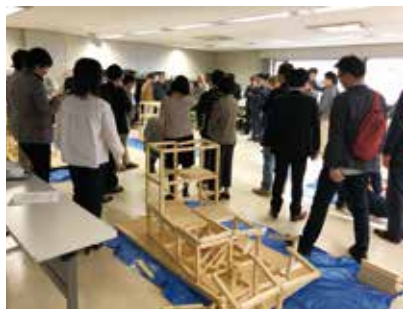


この号が皆さんの手元に届くころには本部青年委員会が新体制になっており私は卒業してますので青年としての最後の寄稿になります。

今回は全道の青年建築士の皆さんが事業に積極的に参加して頂く為に活動の紹介やイベントをお知らせします。ではさっそく。

最初に、本部事業として3月28日に開催する全道青年委員会連絡会議についてです。

近藤委員長率いる新体制による最初の活動になりますが、各支部青年委員長、青年委員が参集し事業方針、事業計画、決算や予算についての報告と説明を行います。また、建築士の資質向上を目的とした研修会や報告会を行います。例年、70名ほどの参加者で、青年らしい自由な発想で楽しめる事業となります。また、会員同士のつながりや仲間づくりの場ともなります。



連絡会議の構造セミナー

5月は青年建築士の集いがあります。例年は地域実践活動発表会を行い、全道4ブロックの代表支部が取り組みを発表し全国大会での発表の選抜を行います。昨年は胆振東部地震の被災地で被害の大きかった厚真町でボランティア活動と地域の子供に笑顔をとの思いで、マイ箸づくりに変更しました。今年は稚内で5月16日に活動発表

会を開催予定です。各地の活動報告は良い刺激になりますし新鮮な海の幸を食べながらの懇親会は、仲間との絆を深める良い機会になるでしょう。



厚真町ボランティアの様子

6月は『建築のお仕事体験～7月1日は建築士の日～』と題して建築士(会)の周知イベントを新さっぽろサンピアザ光の広場にて開催します。お仕事体験を通じて子供たちが将来建築士を目指す事への期待と建築士会のPRをかねた、楽しく建築にふれあうイベントです。運営スタッフとしての参加になりますが子供たちの笑顔は活力になりますので、積極的に参加をお願いします。



建築のお仕事体験

9月5日は全道大会が網走で開催です。大会当日は青年担当の分科会があります。また前日は仲間づくりを目的として青年サミットも開催します。たくさんの同志と懇親を深め、仲間を増やす。または自分や支部・町・活動のアピールの場にもなります。

11月14日は全国大会が広島県で開催です。昨年は北海道大会でしたが開催地の函館には全国各地からの参加があり、広島県からも大勢がアピールに訪れました。

広島には世界遺産の厳島神社や新旧の建築物・アートも楽しめるようです。あなごめしや広島焼きも気になります。昨年の感謝の意も込めて是非ご参加ください。

最後にブロック事業への参加のお願いです。

道央・道南・道北・道東の各ブロックでは、各年3回の協議会を開催しています。協議会にあわせて各地の特色を生かした研修会や見学会も開催されます。



ブロック協議会の様子

例えば昨年の道央ブロックでは倶知安町山田地区の高級コンドミニアムなどの見学会とまち歩き。第2回は応急危険度判定士認定講習会・机上訓練。第3回は空知地区のワイナリー見学ツアーを開催しました。毎回20～30名ほどの参加ですが、大変盛り上がりします。詳しくは北海道建築士会ホームページの青年委員会の活動から各イベントの報告書がアップされていますのでご覧ください。

《メッセージ》

青年建築士の活動は、必ず自分の為になる事だと思います。ブロックでの活動、本部事業、どちらでも、どこからでも構いません。是非気軽に参加し、まずは楽しむことから始めてみては如何でしょうか。良い仲間たちが待っています。

《追伸》今年度より被災地応急支援委員会の一員として活動することになりました。判定士の養成講習等でも顔を合わせると思っていますので、よろしく願います。
See you (^-^)/

千歳支部 千歳支部1年間の活動について

青年部長
山川 力



千歳支部では、例年1月に支部総会を開催しており、昨年は1月26日に支部総会及び懇親会を市内のホテルで開催しました。また、支部総会の前には、青年部が会員の親睦を目的としボウリング大会を開催しました。大会は会員の家族や同僚も参加することができ、さらに、成績に応じ豪華景品が当たることから大変盛り上がっていました。

次に、平成28年から、監理技術者講習会を実施しており、昨年は5月21日に開催しました。市内で受講できる唯一の機会であり今後も継続していきたいと考えており、年1回程度の開催を行っていきたくて考えています。近隣の市

町村にお住まいの方で希望される方は、ぜひ受講いただければと思います。

次に、「建築士の日」に併せて、7月13～15日の連休に開催された千歳の夏の一大イベントである「スカイ・ビア&YOSAKOI祭」に街の活性化に寄与するとともに、会員同士の親睦を深めることを目的とし焼き鳥や焼きそばを販売する屋台を出店しました。3日間とも天気にはあまり恵まれませんでしたでしたが、3日間で延べ30人以上の会員が参加しました。このイベントへは、今年も出店する予定ですので7月の3連休に千歳にお越しの際はぜひ自慢の焼き鳥を食べに来てください。

昨年度の建築士会全国大会は北海道函館市で（公社）日本建築士会連合会主催、（一社）北海道建築士会主管により開催されました。

函館アリーナ、花びしホテルなどを会場として、大会式典、記念講演、大交流会、交流セッションと、北海道ならではの食とお酒に舌鼓を打ち函館夜景バスツアーと翌日には地域交流見学会など盛沢山の内容で総動員数も2900人を超え大盛況で幕を閉じました。今回は応援スタッフとして参加し舞台裏という貴重な経験をする事が出来ました。例年とは違う感動を感じた全国大会でした。



支部総会前のボウリング大会

士別支部 家庭ごみの有料化

事務局
寺島 誠也



私の住むまち、士別市では2019年10月1日から「士別市家庭ごみ有料化」が実施されました。

ちなみにこの時すでに道内35市のうち、32市が家庭ごみの有料化を実施しているとの事で、だいぶ出遅れている感が否めません。

話は戻りまして、今までの士別市のごみ処理・分別の経緯としては1991年(平成3年)に缶・ビン類の分別を実施して以降、ペットボトル・紙パック・その他プラスチック・紙類・生ごみ・衛生ごみの分別を実施という流れで、段階的に分別の細分化が図られてまいりましたが、粗大ごみ及び最終処分場への直接搬入ごみ以外については有料化が行われていませんでした。

今回の家庭ごみ有料化では、普段当たり前のように大量消費・廃棄していた一般ごみ・衛生ごみ・生ごみ・その他プラスチックが有料の追加対象となり、士別市指定のごみ袋を市内の販売店で購入

し、ごみを分別・排出しています。

実施の経緯・理由については色々ありますが、ひとつあげるとするならば、2017年(平成29年)より供用が開始された環境センター(リサイクルセンター、最終処分場)の長期間使用です。

以前の最終処分場は計画上の埋立期間が13年の予定でしたが、分別収集の実施などにより、予定を大幅に超えて34年間も使用されました。

その経緯を踏まえて今回の家庭ごみ有料化は、ごみの減量化と分別による資源化を図り、埋立計画期間が15年となっている新しい環境センターを少しでも長く使用するために、必要な事であると感じております。

今まで特に何も感じる事なく出していたごみが、ただ「有料化」となっただけで色々考えるようになったり、意識するようになったり。

実際に私は有料化が実施される前

の8～9月の間は、捨てるなら無料のうちという消費者意識を發揮し、身の回りの本当に必要なもの・不要なものを判断・整理し、かなりの量の断捨離を実行できました。今後は不要なものを買って無駄に捨てたりしないように気を付けていき、少しでもごみの減量化、ひいては環境センターの長期間使用に貢献したいと思っています。

最後となりますが、士別市環境センターは個人での施設見学は行っておりませんが、団体等での施設見学は行っておりますので、屋根付きのクローズド型処分場・再資源化を図るためのリサイクルセンターにご興味のある方は是非お誘い合わせの上、士別にお越しいただければ幸いです。



士別市環境センター

CPD認定プログラム(1月認定)

- ◆一級建築士合格者 新建築士セミナー
 《日程及び会場》2月15日(土) 13:35~15:05
 (札幌市)
 《単位数》 1単位
 《問合せ先》 (一社)北海道建築士会
 TEL 011-251-6076

講習会のご案内(2月開催)

建築基準法講習会

- 5日(水) 岩見沢市 6日(木) 留萌市
 13日(木) 北斗市・江差町・名寄市
 14日(金) 中標津町 19日(水) 苫小牧市
 20日(木) 倶知安町・室蘭市
 21日(金) 小樽市 27日(木) 稚内市

監理技術者講習

- 19日(水) 札幌市 20日(木) 旭川市

応急危険度判定士認定講習会

- 3日(月) 稚内市・苫小牧市 5日(水) 札幌市

建築士試験「設計製図」合格者(北海道)

	実受験者	合格者	合格率
一級建築士	234名	82名	35.0%

令和2年 (一社)北海道建築士会会員作品の募集

みなさんの手がけた建築作品を広くアピールしてみませんか。応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し9月発刊「北海道建築士No.277」に掲載します。多くの会員の応募をお待ちしています。

※応募要項など詳細は、3月発刊「北海道建築士No.271」に掲載します。

編集後記

役員改選を終え、令和2・3年度新体制となりました。各委員会もメンバーをリフレッシュして活動を始めています。1月中には大半の支部の総会が行われ、ひと段落したのではないのでしょうか。

さて、各支部に寄稿をお願いしています「Coffee Break」ですが、残念なことに支部活動がないためと断られることが時折あります。このコーナーは支部活動に限らず、時事ネタ、地域ネタ、個人的なこと等、どんな話題でも構いません。お気軽に寄稿いただけましたら幸いです。

今後とも、北海道建築士会並びに会誌『北海道建築士』をよろしくお願ひいたします。

情報委員会委員長 斎藤 勝哉(旭川支部)

道士会の動き

道本部の主な行事予定(2月)

- 15日(土) 一級建築士免許交付式
 22日(土) 第1回女性委員会
 22日(土) 第1回総務委員会
 29日(土) 北海道建築士会まちづくり会議
 29日(土) 第1回被災地応急支援委員会
 29日(土) 第1回事業委員会

道本部の主な会議報告(1月)

- ◆第1回青年委員会
 《開催日》1月11日(土)
 《議題》1) 令和元年事業報告・決算報告、令和2年事業計画・予算
 2) 全道青年委員会連絡会議
 3) 青年建築士の集い(稚内)
 4) 全道大会青年サミット
 5) 全道大会C分科会
- ◆正副会長・常務・委員長会議
 《開催日》1月14日(火)
 《議題》1) 令和2・3年実行委員会の課題
 2) 令和2年事業計画及び予算
- ◆第1回 まちづくり委員会小会議
 《開催日》1月18日(土)
 《議題》1) 令和元年事業報告・決算報告、令和2年事業計画・予算
 2) まちづくり会議
 3) まちづくりフォーラム
 4) 全道大会(網走大会)分科会
 5) 高校生建築デザインコンクール
 6) 高校生「建築甲子園」
 7) 連合会まちづくり委員会、まちづくり会議

関係機関等会議参加予定(2月)

- 3日(月) 建設系CPD協議会運営委員会(東京)
 6日(木) 東北ブロック会会長会議(盛岡)
 26日(水) 北海道空調衛生工事業協会懇親会
 すべて高野会長出席

情報委員会委員長/斎藤 勝哉
 副委員長/早川 陽子・森 勝利・前田 繁
 委員/柏倉 晶憲・村山 賢司
 片岡 哲二・境谷 香奈

北海道建築士 No.270号

印刷 令和2年1月/発行 令和2年2月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
 大五ビル
 電話 (011)251-6076番
 URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
 電話 (011)811-7151番